



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東
 コード番号 3681 URL http://jp.vcube.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間下 直晃
 問合せ先責任者 (役職名) CFO 経営企画本部長 (氏名) 山本 一輝 TEL 03 (5475) 7250
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,314	17.3	556	—	550	—	635	32.1
2019年12月期第3四半期	4,528	△18.3	△166	—	△195	—	481	4,562.5

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 504百万円 (26.0%) 2019年12月期第3四半期 400百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	26.33	25.45
2019年12月期第3四半期	19.96	19.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	9,140	3,557	38.5	145.51
2019年12月期	7,002	3,049	43.2	125.67

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,519百万円 2019年12月期 3,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期（予想）				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	24.0	900	—	860	—	1,000	2,841.2	41.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	24,367,400株	2019年12月期	24,256,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	178,343株	2019年12月期	182,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	24,143,408株	2019年12月期3Q	24,112,984株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は、2020年12月期第3四半期末は600株、2019年12月期末4,300株であります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	4,528,915	5,314,399	785,484	17.3%
営業利益	△166,002	556,149	722,151	—
経常利益	△195,551	550,554	746,105	—
親会社帰属四半期純利益	481,406	635,722	154,316	32.1%

当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比で17.3%増加いたしました。これは主に、Web会議サービスや映像組み込みサービスの需要増加により、ビジュアルコミュニケーション事業売上高が伸長したことによるものです。

営業利益においては、ビジュアルコミュニケーション事業の売上割合が高まったことから伸長し、前年同期比722,151千円増の556,149千円となりました。

営業外損益においては、為替が大きく変動する状況下のグループ会社間の資金決済により為替差益25,149千円（前年同期比117.9%）を計上しました。

特別損益においては、投資有価証券の売却を行った結果、投資有価証券売却益148,122千円を計上しております。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

I. ビジュアルコミュニケーション事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	2,929,907	3,848,028	918,121	31.3%
セグメント利益	139,254	755,578	616,324	442.6%

主力のWeb会議サービス「V-CUBE ミーティング」やWebセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」をはじめとする「V-CUBE」各サービスについて、「クラウド」型、「オンプレミス」型による提供をしております。

当第3四半期連結累計期間では、主力であるWeb会議サービスの需要が増加したことに加えて、顧客サービスにビデオ通話機能やライブ配信機能を付加することができる映像組み込みサービスが伸長したことにより、売上高は前年同期比31.3%増の3,848,028千円となりました。また、これらのサービスの伸長に伴ってセグメント利益も増加し、前年同期比442.6%増の755,578千円となりました。

II. ラーニングマネジメントシステム事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	812,133	581,334	△230,799	△28.4%
セグメント利益	△35,443	79,298	114,741	—

シンガポール子会社Wizlearn Technologies Pte. Ltd. が、学習管理システム「ASKnLearn」を主にASEANの学校・企業向けに提供しております。

当第3四半期連結累計期間では、アイスタディ株式会社（現：株式会社クシム、以下「アイスタディ」）が連結子会社でなくなったことから売上高は前年同期比28.4%減の581,334千円となりました。
また、セグメント利益は79,298千円（前年同期はセグメント損失35,443千円）となりました。これは、季節性要因により第1四半期に収益性が低くなるアイスタディが連結除外となったこと、及び新型コロナウイルスの影響を一部受けたものの、シンガポールにおける企業向けサービスの販売活動が概ね堅調に推移したためであります。

Ⅲ. アプライアンス事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	786,874	885,036	98,162	12.5%
セグメント利益	86,326	117,484	31,158	36.1%

防音型コミュニケーションブース「テレキューブ」について、公共空間向けや企業向けに販売するほか、サブスク립ション型のサービスを提供しております。この他、テレビ会議システム「V-CUBE BOX」や、ディスカッションテーブル「V-CUBE Board」のほか、ウェブ会議等に必要になる周辺機器の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、第2四半期まで新型コロナウイルスの影響により遅延していた「テレキューブ」の設置・販売がようやく再開し、昨年末のテレビCMの効果やテレワークの拡大による需要増を受けて販売台数が拡大いたしました。その結果、売上高は前年同期比12.5%増の885,036千円となり、セグメント利益は前年同期比36.1%増の117,484千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結累計期間	増減
資産	7,002,932	9,140,234	2,137,302
負債	3,953,863	5,582,539	1,628,676
純資産	3,049,069	3,557,695	508,626

①資産

第3四半期連結会計期間において、資産残高は前期末比2,137,302千円増の9,140,234千円となりました。これは、前期末に一時的に減少させたコミットメントライン等の借入金を再度増額したこと及び販売活動の伸長により、現金及び預金の残高が増加したためであります。

②負債

資産の状況と同様に、販売活動の伸長により買掛金、前受金残高が増加したことと、一時的に減少していた借入金を増額したことにより、短期借入金残高が増加いたしました。これにより負債残高は前期末比1,628,676千円増の5,582,539千円となりました。

③純資産

上述の通り、販売活動の伸長による買掛金等残高の増加及びコミットメントライン等の実行により負債残高が増加したため、自己資本比率は38.5%（前連結会計年度末は43.2%）となりました。また、年末から第3四半期連結会計期間末にかけてシンガポールドルに対して円高が進んだことにより、シンガポール子会社への投資に係る為替換算調整勘定が99,477千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金残高が611,643千円増加したため、純資産残高は508,626千円増の3,557,695千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年11月9日公表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は取引金融機関とシンジケートローン契約（1,260,000千円）を締結しておりますが、財務制限条項が付されております。財務制限条項の特約要件について2020年3月に変更契約を締結しており、これにより資金調達の安定性は改善しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、財務制限条項に抵触する事象は発生していません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,148	2,695,695
受取手形及び売掛金	1,126,072	1,258,120
前渡金	96,267	53,575
その他	256,894	334,855
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	2,269,183	4,342,046
固定資産		
有形固定資産	292,693	430,714
無形固定資産		
ソフトウェア	1,726,365	1,795,834
ソフトウェア仮勘定	299,490	271,290
のれん	879,818	780,876
その他	62	62
無形固定資産合計	2,905,737	2,848,063
投資その他の資産	1,535,318	1,519,410
固定資産合計	4,733,749	4,798,188
資産合計	7,002,932	9,140,234
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,652	332,787
短期借入金	—	1,083,300
1年内返済予定の長期借入金	546,110	1,464,060
前受金	813,979	1,118,187
賞与引当金	110,055	71,221
未払法人税等	8,655	109,439
その他	521,726	574,617
流動負債合計	2,248,179	4,753,613
固定負債		
長期借入金	1,663,280	648,560
その他	42,403	180,365
固定負債合計	1,705,683	828,925
負債合計	3,953,863	5,582,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,100	50,565
資本剰余金	2,777,744	2,790,209
利益剰余金	283,217	894,861
自己株式	△104,033	△100,544
株主資本合計	2,995,029	3,635,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,281	△2,940
為替換算調整勘定	△12,910	△112,387
その他の包括利益累計額合計	30,371	△115,328
新株予約権	2,662	2,160
非支配株主持分	21,006	35,772
純資産合計	3,049,069	3,557,695
負債純資産合計	7,002,932	9,140,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,528,915	5,314,399
売上原価	2,919,347	2,850,601
売上総利益	1,609,568	2,463,797
販売費及び一般管理費	1,775,570	1,907,648
営業利益又は営業損失(△)	△166,002	556,149
営業外収益		
受取利息	7,069	2,444
受取配当金	—	476
受取保証料	3,189	3,201
為替差益	11,539	25,149
受取保険金	690	2,326
助成金収入	7,414	10,668
投資有価証券評価益	524	15,099
その他	5,081	6,146
営業外収益合計	35,509	65,513
営業外費用		
支払利息	16,511	15,756
支払手数料	31,824	4,620
地代家賃	5,580	—
持分法による投資損失	9,779	45,149
その他	1,362	5,582
営業外費用合計	65,058	71,108
経常利益又は経常損失(△)	△195,551	550,554
特別利益		
子会社株式売却益	1,226,201	—
投資有価証券売却益	—	148,122
その他	—	502
特別利益合計	1,226,201	148,625
特別損失		
固定資産除却損	2,638	582
減損損失	371,724	—
本社移転関連費用	7,232	—
投資有価証券評価損	—	4,339
債権売却損	141,746	—
その他	686	—
特別損失合計	524,028	4,921
税金等調整前四半期純利益	506,621	694,258
法人税、住民税及び事業税	5,879	114,066
法人税等調整額	29,975	△70,244
法人税等合計	35,854	43,822
四半期純利益	470,767	650,436
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,639	14,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	481,406	635,722

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	470,767	650,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,087	△46,222
為替換算調整勘定	△93,671	△99,477
その他の包括利益合計	△70,584	△145,700
四半期包括利益	400,182	504,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,499	489,969
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,317	14,766

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,929,907	812,133	786,874	4,528,915	—	4,528,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,929,907	812,133	786,874	4,528,915	—	4,528,915
セグメント利益又は 損失(△)	139,254	△35,443	86,326	190,136	△356,139	△166,002

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△356,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	全社・消去	合計
減損損失	371,724	—	—	—	371,724

(注) 減損損失の詳細については、第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(四半期連結損益計算書関係)の減損損失をご参照ください。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,848,028	581,334	885,036	5,314,399	—	5,314,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,848,028	581,334	885,036	5,314,399	—	5,314,399
セグメント利益又は 損失(△)	755,578	79,298	117,484	952,362	△396,213	556,149

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△396,213千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。